

流域下水道管の破損に起因する道路陥没事故に関する
復旧工法検討委員会(第3回)

議事要旨

日時: 令和7年4月23日(水) 15:00～16:30

場所: 埼玉県八潮新都市建設事務所

1. 開会

(1) 開会挨拶

- ・北田下水道事業管理者より挨拶
- ・日本大学 森田弘昭委員長より挨拶

2. 議題

(1) 工事進捗状況について

事務局より、前回委員会以降の工事の進捗状況について報告があった。

(2) 破損した下水道管の復旧方法について

事務局より、破損した下水道管の仮復旧工法について説明があり、議論が行われた。

○委員からの主な意見

- ・管更生に際し、管内の土砂を除去すべきである。
- ・想定している工法が施工可能か確認するため、既設管の状況を把握する必要がある。
- ・管更生の工法選定にあたっては、条件を整理して詳細な比較検討を行う必要がある。
- ・地盤改良区間と未改良区間との境界に地盤条件の変化による段差が生じる可能性があるため、擦り付けを適切に行う必要がある。
- ・更生管と NS 推進管の境界付近など、改良部と未改良部が複雑に入り組む範囲については、空洞の発生が懸念される。そういった複雑なところは 3 次元的に擦り付け等を検討すべき。
- ・防菌剤混入コンクリートは発生した硫酸には効果がないので、腐食環境が連続している当該現場では、防食塗装やレジン管などを採用すべきである。

(3) 抜本的な対策について

事務局より、抜本的な対策の方向性として、維持管理性やリダンダンシー確保の観点から、複線化を行っていく方針であることの説明があり、議論が行われた。

○委員からの主な意見

- ・複線化とする場合、新旧どちらの管も活用できるよう配置や運用方法を検討するべきである。
- ・シールド工法に加えて推進工法の適用性についても検討すべきである。

以 上